



四方の礼拝場に参拝者が詰めかけるなか、かぐら・てをどりが本部神殿で陽気に勤められた



秋季大祭に合わせて多くの教会が団参を実施した



別席場では、別席者が長蛇の列を成した



前日には、第99回「天理教青年会総会」が本部中庭で開催された



熱心に「みかぐらうた」を唱和する参拝者

立教の元一日に思いを馳せ

立教188年 秋季大祭

立教の元一日に由来する立教188年秋季大祭は10月26日、奈良県天理市の天理教教会本部で執り行われた。

天保9年（1838年）、教祖・中山みき様を通して、親神天理王命が初めてこの世の表に現れ、教えを啓かれたこの日。国の内外から帰り集った大勢の参拝者は、立教に込められた世界一れつをたすけたいと

の思召に思いを馳せ、心一つに「みかぐらうた」を唱和した。

また、週末と重なった秋季大祭に合わせて全国各地の教会が団参を実施し、25日から27日にかけて1万6千人以上が帰参。来年1月に執行される教祖140年祭まで残り3カ月となるなか、晩秋の親里は大いににぎわった。

